

6-1 小学校 1年生生活科 指導事例 「かぞくだいすき だいさくせん！」（家族と生活）

【単元目標】

家族生活を支えている家族のことが分かり、その一員としての自分ができることを考えたり、工夫したりすることができるようになる。

【目指す子どもの姿】

家族の一員として自分ができることを考え、その役割を積極的に果たす姿

1 本単元の流れと「政治的教養を育む学びのプロセス」との関係

学 習 活 動（全12時間+常時活動）	ポイントになる学びのプロセス
<p>おうちのひとがしていることは？②</p> <ul style="list-style-type: none"> 友だちとの普段の話題の中から、おうちの人がしていること（家事）に興味をもつ。 家事についての友だちとの話から、そこに違いがあることに気づき、本当にそうなのか調べてみようという興味をもつ。 	<p>ポイント1</p> <p>関心をもつ</p>
<p>おうちのひとがしていることをウォッチングしよう！（常時活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> 家事にはどのようなものがあるのか一週間調べる。 	
<p>ウォッチングどうだった？②</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べた結果を友だちと交流する中で、必ずある仕事と、そうでない仕事があることに気付く。 同じ仕事の中にも、家によってやり方に違いがあることに気付く。 	
<p>ひみつをさぐれ！～もういちどウォッチング（常時活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕事の内容に注目し、上手にするための秘密を観察したり、インタビューしたりして、一週間調べる。 	
<p>こんなひみつをみつけたぞ？②</p> <ul style="list-style-type: none"> 見つけた秘密を友だちと交流する。 秘密を知り、自分にもできるかもしれないという気持ちをもつ。 	
<p>やってみよう！おうちのしごと（常時活動+③）</p> <ul style="list-style-type: none"> おうちの人に教えてもらいながら、少しずつ自分の力だけでおうちのしごとをやる。 毎日の取組の様子を友だちと交流する。 交流する中でもっと上手にできる方法に気づき、おうちのしごとに活かしていく。 	<p>ポイント2</p> <p>主体的に行動する</p>
<p>これからも！かぞくだいすきだいさくせん③</p> <ul style="list-style-type: none"> 家族からのお手紙をもらう。 自分ができるようになったことについて友だちと交流する。 これからも家族のため、自分のためにおうちのしごとをしていこうとする。 	

